



仁坂吉伸知事(左)に全国高校総体での活躍を報告する神島・少林寺拳法部選手。右側は田辺工業・カヌー一部選手—県庁で

全国高校総体

知事に活躍を報告

カヌー(田辺工業)や少林寺拳法(神島)

全国高校総体(インターハイ)で、準優勝した田辺工業・カヌー部や神島・少林寺拳法部の選手らが11日、県庁を訪れ、仁坂吉伸知事に活躍を報告した。

カヌー競技は8月上旬に山梨県であり、田辺工業の秦秀明選手(3年)と今村啓志選手(同)の組が男子カヤックペア(K2)200歳と500歳以上の2種目で準優勝。秦、今村、水野駿(3年)、射場祐太郎(2年)の4選手が乗る男子カヤックフォア(K4)200歳でも準優勝した。

少林寺拳法競技も8月上旬に千葉県であり、神島女子が団体演武で準優勝した。メンバーは阪本亜弥(3年)、早田佳那子、濱中珠穂、谷口藍梨、山崎萌、津田京香、平山

千佐、水谷茉莉耶(以上2年)の各選手。

このほか、フェンシング(女子)学校対抗で優勝した和歌山北やボクシング・フライ級優勝の貴志川3年村田昂選手、自転車競技チームスプリント優勝の和歌山北などのほか、全国中学総体活躍校も含め、8チーム33選手が訪問。

それぞれのクラブ顧問が順番に、成績や活躍の様子を報告した。

仁坂知事は「おめでとうございませう。チームで頑張られた方が多かったです。来年はわかやま国体。ますます腕を磨いて、一層頑張ってください」と励ました。

